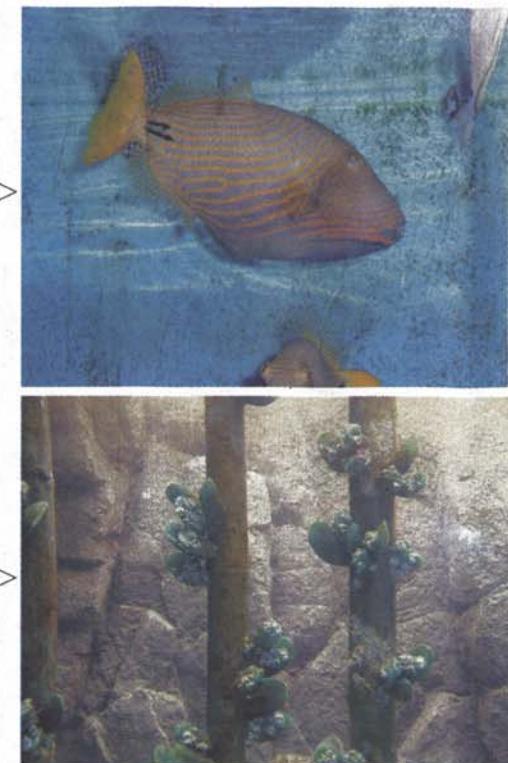




タイ国ブラバ大学水族館入り口で概要を説明中のトンさん



二四

示したミドリイガイの養殖

あわや慘事の目撃者

チヨラロ・ノ・エイ大学で
は、ヒドロクラゲのいく
つかのサンプルを調べた
ところ、日本にまったく
生息しない種類のほか、
汎世界的な終生プランク

12月20日から1週間、タイ国バンコクのチュラロンコン大学とプラパ大学を訪れ、刺胞動物門ヒドロ虫類の系統分類学について共同研究調査などを行った。広島大学の豊潮丸でお世話になつている大塚攻助教授チームの寄生虫類の研究調査に同行させていただいた。

トソ種も多かつた。昨年
6月に開催された国際サ
ンゴ学会で報告した日本
初記録種が、バンコク付
近の川の中流部から、日
本で報告例のない種と一
緒に採集された。異なる
生息域に通常は住みわけ
ている種であつても大き

プラバ大学には水族館や博物館があり、連日、大勢の中小学生や一般団体などが押し寄せていた。両施設を案内して頂いたが、田辺湾で見かけた熱帯系の動物が数多く飼育展示されていて親しみを見えた。

例えば、クマドリなど
のモンガラカワハギ類や

が次々と現れる。分類学研究室で無脊椎（せき（い））動物を専門にしているトンさん、カワさん、ティクさん、スチャさんら、そして底生動物学が専門で理学部長のカシンさんにお世話になった。あちらにこちらのフィールドを案内して頂き、自然養殖で市場に出回つて

ミジンコ類やへん形動物の渦虫類は高頻度の共生がみられた。

生物 そで状突起に縦列させ
いた。分類形質を詳し
調べなければ分からな

いくては、激辛かと思えばかくり甘い味つけもあつた。ヌードルがさまざままで、フードがふんだんにうるさい。エゴ頬の裏

地道な基礎研究を主軸とした系統分類学が育つてくればとの願いをこめて、今後もより一層共同研究を発展させていく所定である。

京都大学助教授
久保田 信
(瀬戸臨海実験所)



タイのプラパ大学付近
の市場にはさまざまな
魚介類が見られる